

令和3年度 三和地域協議会事業報告

三和地域協議会は平成27年度の発足以来7年目を迎え、これまでの常設部会の活動に加え、令和3年度から地域内の住民の日常生活を支援する「三和地域暮らしサポート事業」を新たにスタートするなど、「住みたくなる魅力あるまち」になるための事業に、引き続き取り組んできました。

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種のイベントや、会議の開催が困難となり、地域協議会がかかわる事業についてもその多くを中止せざるを得ない状況の中、地域活力部会では、感染防止対策をしながら、趣向を変えて「みわこどもウォークラリー」を開催しました。

また、地域住民の生活の足として欠かせないものとなってきた「三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称：みわひまわりライド）」についても、コロナ禍による行事の中止などにより運行数は減少しましたが、会員数は増加し、三和地域住民の生活基盤を支える移動交通手段として重要な役割を担いました。

一方、地域の交流拠点である「三和荘」については、令和4年4月1日から市直営で運営が開始されています。これまで、「交流拠点施設『三和荘』存続住民会議（令和元年5月17日設置）」を組織し、みなさんからの意見をまとめ、福知山市に説明を求めながら要望や提案を進めてきたところでもあります。運営開始にあたって、福知山市から三和町自治会長会や組内回覧を通じて地域のみなさんへ施設整備計画の説明が行われ、三和地域協議会の広報「みわを元気に」の紙面でも現段階での計画内容を紹介しました。今後、三和荘が地域交流拠点となることから、当協議会も事務所の移転を視野に入れつつ引き続き三和荘の維持・発展のために市と連携していきます。

また、地域唯一の一般診療施設である三和診療所が令和2年8月から休診となり、住民や利用者から多くの不便や不安の声が寄せられています。これについても自治会長会と連携し、早期再開の要望活動を進めているところです。

定住促進や子育て環境の充実、地域自治や地域福祉を守る活動については、コロナ禍で制限のある中、各部会を中心に引き続き様々な地域課題に取り組みました。自治会長会をはじめ地域内外の諸団体、個人のご理解ご協力により、着実にその歩みを進めることができたと考えております。

以下、それぞれの事業について報告します。

1. 協議会全体事業について

(1) 三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称「みわひまわりライド」）

本年度末時点で「みわひまわりライド」の会員数は156人で、日常の買い物や医療受診、地域公民館施設での行事参加のほか市役所支所やJA窓口での用事の移動手段として月平均53人の利用があり、前年度に引き続きコロナ禍による行事の中断等により令和2年度と比較すると約3割減少となったものの、三和地域に暮らす高齢者世帯の生活基盤を支えてきました。

さらに、近隣や沿線の利用者による「相乗り」利用者累計は365人となり、割引サービスによる利用者の負担軽減を図ってきました。

また、事業のPRでは各集落単位で定期に開催されている「サロン」に出向いての概要説明により利用会員の拡大と周知に努めました。

なお、運行の安定した継続に欠かせない運転協力者の確保のため、昨年11月に法定講習会を開催し、6人の運転者を増員しました。

運行区域 「三和町内便」及び「PLANT（プラント）-3買い物便」
利用料金 400（800）円／人・回 ※（ ）内は買い物便
※相乗り割引き・・・一定の要件を満たす2人以上の「相乗り」につ
いて、1人1便当り100円の割引券を配付し
4枚単位で利用可

運転者数 24人
会員登録数 156人（うち、既利用者115人）
利用者数 延べ635人（平成29年10月からの累計 延べ3,128人）

(2) 三和地域暮らしサポート事業（愛称「みわひまわりサポート」）

日常の「ちょっとした困りごと」や「手助けして欲しいこと」を地域住民同士で支え合う取り組みとして本年度からスタートした三和地域暮らしサポート事業（みわひまわりサポート）は、市から月額約3万円の補助も得て、既存の制度（介護保険等）でカバーできない分野などを、利用会員の要請に応じ、住民の協力会員が出向いて援助活動しました。

現在、利用会員22人、サポートする協力会員は32人で、ごみ出しや家の周りの草引き・草刈、家具の移動や蛍光灯の交換など、事業を始めてから令和3年度末までに1人暮らしのおばあさんらの利用会員11人から、32件の要望が寄せられ、11人のサポート会員が対応しました。

(3) 福知山公立大学連携事業

福知山公立大学がすすめる「地域密着型授業」として、令和3年度は亀井教授・軍司准教授クラスの1回生16人が、三和地域をフィールドに地域経営演習を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期授業はすべてオンライン方式となり、実際に地域を訪れての授業は後期の3回のみとなりましたが、新しい農業の取り組みや民宿経営、企業経営、生活交通をテーマに学習を深めることができました。しかし、三和学園との交流は感染対策上困難となり、次年度以降の交流再開に期待して、地域講師の先生による大学での活動紹介にとどまりました。

三和地域での取り組みは、大学と地域との連携モデルとして、引き続き高い評価をいただいています。

(4) 空き家対策・定住促進事業

前年度に引き続き、移住希望者への空き家の案内、空き家内覧時の所有者さん、自治会長さんとの調整、三和地域の空き家情報バンク登録、空き家調査のお手伝い、また上川合おためし住宅への入居希望者のオンライン面談での地域紹介などの活動にあたりました。

ここ数年のコロナ禍において生活スタイルも変わり、場所を選ばない働き方の多様化などで地方移住の傾向が高まり、移住希望者も定年後のスローライフを楽しみたいシニア世代から、子育て世代へと変わってきています。

令和3年度2月末現在の空き家購入希望者数は約600世帯（福知山市在住者も含む）で、前年度に比べ約2倍になっています。また、福知山市の空き家情報バンクへの物件登録件数は32件（内、三和町の物件登録件数は6件）、市全体の成約件数は29件（内、三和町の成約件数は5件）でした。

なお、上川合おためし住宅に現在入居中の30代、50代の2世帯のご家族については、空き家情報バンクを通じて当町と福知山市内への移住にむけて、成約手続き中です。

第5回目となる移住者交流会については、前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく中止としました。

(5) みわこどもまつり Presents こどもウォークラリーの開催

日 時 令和3年10月31日（日）午前10時～12時

場 所 三和町農業振興センター前～井ノ奥公園

内 容 歩くコースの途中にチェックポイントを配置し、そこで大声出し、輪投げ、階段数え、防犯、風船飾り、お手紙体験のコーナーを設けて遊んでお菓子をもらいながら、ゴールを目指す

参加者 12組43人

(6) その他の活動

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほとんどの地域行事等が中止、縮小となり、従来の事業協力等については取り組むことができませんでした。

2. 常任委員会について

協議会全体の方針や事業の進め方を協議するため、おおむね月1回、定期的に行っています。構成は会長、副会長、部会長、副部会長、常任委員、事務局の13人です。

○ 令和3年度 10回開催

3. 部会活動について

(1) 地域活力部会

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、例年通りのイベント・講演会を開催することはできませんでしたが、ウォークラリーやゆずります会など、新たな形態のイベントを考え、開催することができました。

○ こどもウォークラリー

例年開催していた「みわこどもまつり」は、たくさんの親子連れがお越しくださるイベントのため、感染症拡大防止の観点から令和3年度も行いませんでした。そこで、代わりになるイベントができればと、「みわこどもまつり Presents こどもウォークラリー」を10月に開催しました。密を避けるため定員を決めての開催でしたが、天候にも恵まれ、ご参加くださった皆さんもスタッフも、久々のイベントを楽しみました。アンケートでは、家族で楽しめた、またして欲しいとのご感想をいただきました。

○ みわふれあいカフェ

みわふれあいカフェは、地域住民が気軽に集い、のんびりお喋りしながら交流を深める場所づくりをめざして、令和3年度も4月～11月まで（緊急事態宣言発令時は休業）計19回開催しました。また、毎月第1金曜は珈琲工房カリビアンさんのオリジナルコーヒーを提供しました。

後述の「うちのモノ ゆずります♪会」のスタートもご好評をいただき、ふれあいカフェにはのべ約310人のご来場がありました。

○ ゆずります会

10月から、住民の皆さんにお家に眠っている“まだ使えるけど、自分は使わ

ないもの”を持ち寄って、必要なものを持ち帰っていただく「うちのモノ ゆずります♪会」をみわふれあいカフェと同時開催でスタートし、多くの方にご利用いただきました。

また、卒園・卒業したお子さんの学用品を新入園・新入学・在学中のお子さんにお渡しする助けになればと、「学用品 ゆずります♪会」も1月と3月に開催しました。こちらは、現在もホームページで物品の情報を公開し、随時引き取り・受け渡しを行っています。

○ 三和音頭の普及

三和音頭の普及に向け、令和3年度は前年度できなかった分イベントなどで普及活動を行う予定でしたが、コロナ禍が続いてイベントは開催されず、活動できませんでした。

○ みわ子育て講演会

「みわを子育てしやすいまちに」するための活動の一環として、令和3年度は前年度できなかった講演会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大はおさまらず、中止しました。

○ 京都FM丹波放送「みわを元気に」放送

平成29年度から放送を開始した「みわを元気に」のコーナーは、令和3年度も隔月（休止1回）で計5回の放送を行いました。ふるま家、菟原児童館、大正琴、防犯推進委員さんなどをゲストにお招きしてお話をいただきました。広報紙に掲載しているQRコードからアクセスすれば、いつでも聴けるようになっています。

(2) 生活基盤部会

高齢化が進み、独り暮らしも増える中、暮らしの面でのちょっとした助け合いを推進しようとしたのが、「暮らしサポート」事業です。昔からある、ご近所での支え合いを三和地域全体に広げたい、との願いからでした。

三和地域協議会の生活基盤部会が呼びかけて、市や自治会、社協、民生委員、老人クラブ三和支部、福祉施設の各代表らを委員に、令和元年度から2年間にわたり、部会で議論を重ねてきました。「高齢になっても住み慣れた地域で住み続けられるよう、少しでも援助できる仕組みづくりを」との方向でまとめ、令和3年7月、事業を開始しました。1時間の作業で500円、単純なごみ出しは1回100円、などの利用料金を決めています。が、「少しお金がかかっても、制度としてある方が気軽に利用できる」など、好評を得ています。

福祉へのかかわりは難しい面があり、実践の中から見えてきた課題について令和4年度も生活基盤部会で関係機関と協力・連携し、考えていきます。

(3) 交流・連携部会

2年目を迎えた「交流・連携部会」でしたが、新型コロナウイルスの蔓延により交流そのものが困難となる中、唯一福知山公立大生から提案のあった「三和フォトコンテスト」を事業化し、7月から公募しました。しかし、地域で従来から実施されてきた行事などが軒並み中止や縮小に追い込まれる中、応募をいただいたのが一般の部で10点あまり、小中学生の部では0点となり、事業の目的を十分達成できないと判断して審査以降の作業を中止し、令和4年度に改めて第1回

として募集することになりました。

また新たなメンバーの呼びかけやテーマの検討を進めたいと考えていましたが、コロナ禍もあり年度内に協議することができませんでした。令和4年度にメンバーを補充し、新たな取り組みをスタートしたいと考えています。

4、地域住民活動支援事業

(1) 三和荘存続と三和診療所再開に向けての住民要望について

福知山市が令和2年12月に三和荘を行政財産として運営する方針を示して以降、十分な住民説明と継続的な協議を求めて来ました。

令和3年8月、三和荘存続住民会議へ市からの説明と意見交換会が行われ、同年10月には臨時自治会長会で説明がありました。その後は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で会議開催の調整が出来ず、令和4年2月になって住民に具体案が示されました。三和地域協議会では3月の広報紙でも図面とともに説明記事を掲載しています。

三和地域協議会の事務局も三和荘に移転することになっておりますが、今後は、地域の拠点としての機能設備が整えられていくか注視していきます。

令和2年8月から休診中の三和診療所については、市から具体的な再開についての説明はされず、新型コロナウイルス感染症拡大のため、再開について協議の機会を設けることもできませんでした。

(2) 地域住民組織との共同事業について

○みわ夏まつりの開催

三和の夏の風物詩として開催を予定していたみわ夏まつりですが、令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく中止となりました。尚、みわ夏まつりの今後の開催については、実行委員会事務局を担っていたNPO法人丹波みわの解散、福知山観光協会三和支部の本部統合、三和荘の改装等利用環境、駐車場の確保の困難などの理由から今後の実施は終了し、繰越金については、三和ふれあいフェスティバルの開催経費に充当し、存続に活用します。

(3) 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部三和支部事務局について（福知山観光協会 三和支部事務局）

総会、秋のハイキング（春は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）の開催、三和ぐるっとマップの改訂、普及活動など継続して行いました。

尚、福知山観光協会三和支部は令和3年度の通常総会にて今後、福知山観光協会本部へ統合すると決議され、支部としての活動、事務局としての任務も終了しました。

(4) 三和地域福祉推進協議会事業について

この協議会は、地域福祉の推進・強化・連携を図るため、住民や各団体が共同してお互いに支えあう地域社会を目指して活動してきました。本年度は自治会長と民生児童委員の合同研修会や地域福祉講演会、昨年度に続き2回目となる「手作り防護服」づくり等について実施に向けた調整をしてきましたが、引き続きコロナ禍の中で実施が適わず、唯一の取組みとして三和学園の通園バス乗降場所に設置し児童生徒の安全を図るための「飛び出し注意看板」10枚を民生児童委員、警察との連携により作製しました。

また、社協三和支所及び包括支援センターとの連携により地域の小規模な集まり

の中で認知症について正しく学び、理解する「認知症を知る講座」を全戸配付チラシでPRし、2地域から講座開催の依頼があったものの昨年末からのコロナ感染再拡大に伴い中止、延期しました。

5、市役所三和支所委任事業について

(1) 三和ふれあいフェスティバルの開催

三和地域で開催される大きなイベントの一つである「三和ふれあいフェスティバル」の事務局を引き続き担っていますが、令和3年度も前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

(2) 三和町自治会長会事務局

三和地域の自治会長の連合組織である三和町自治会長会の独自活動について、事務局として連絡調整等の事務を実施しました。また、自治会長に対する月2回の刊行物等の配布や、各自治会独自の文書作成の支援等も実施しました。

(3) 無線放送録音受任

三和地域全域をカバーする重要な情報伝達手段である「無線放送」について、そのアナウンス録音を担当し、年間を通して各家庭に情報を届けることを行いました。

6、広報紙「みわを元気に」発行、その他の情報発信

地域協議会の活動を知っていただくとともに、三和地域における様々な住民活動を紹介するため、広報紙「みわを元気に」を隔月で6回発行しました。

また、ホームページやフェイスブック等を活用し、それぞれの媒体に応じた方法で地域協議会の活動を発信しました。

7、その他

会長が市内各種団体の委員として、多くの会議等に参加しました。

8、事業経過(日誌)

令和3年

- 4月2日 地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」再開
毎週金曜日開設(4月末～6月中旬・8月下旬～9月は緊急事態宣言発令のため休止、12～3月冬休み)
- 4月6日 地域活力部会打合せ
「2021みわこどもまつり(仮称)」について
- 4月15日 第1回三和町自治会長会
- 4月16日 第1回常任委員会
みわひまわりサポート事業の開始について、三和フォトコンテストの準備について、ウォークラリーについて、新型コロナの蔓延対応について、各部会の編成と活動テーマについて
- 4月23日 宮津市議会交通政策視察
みわひまわりライドについて
- 4月23日 福知山観光協会三和支部通常総会
令和2年度事業報告及び会計収支決算報告について会計監査報告、令和3年度事業計画(案)及び令和3年度会計収支予算(案)

- について、役員改選、今後の三和支部の運営について
- 4月27日 FM丹波「みわを元気に」
移住までのいきさつ、川合での暮らしについて（「ふるま家」ペリエ・ニコラさん、沢田さやかさんのお話）
- 5月6日 地域活力部会打合せ
ウォークラリーの開催について
- 5月20日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第37号発行
- 6月10日 第2回常任委員会
みわひまわりサポート事業開始について、三和フォトコンテストの準備状況について、三和ふれあいフェスティバルについて、各部会の活動について
- 6月17日 第2回三和町自治会長会
新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止
- 6月23日 FM丹波「みわを元気に」
菟原児童館について（菟原児童館・木本典子さん、細見郁香さんのお話）
- 7月15日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第38号発行
- 9月16日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第39号発行
地域活力部会打合せ
今年度の活動について
- 9月16日 第3回三和町自治会長会
新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止
- 9月21日 地域活力部会打合せ
ウォークラリーの開催日について
- 9月28日 第3回常任委員会
職員辞職に伴う役職員人事について、みわひまわりサポート事業実施状況について、「地域住民センター」構想について、三和フォトコンテストの応募状況について、各部会の活動について
- 10月8日 「うちのモノ ゆずります♪会 at みわふれあいカフェ」開催
みわふれあいカフェの開催に合わせ、11月末まで実施
地域活力部会打合せ
ウォークラリーについて
- 10月13日 FM丹波「みわを元気に」
大正琴との出会いと現在の活動について（琴城流大正琴・山本ルリ子さんのお話）
- 10月15日 臨時三和町自治会長会
- 10月20日 地域活力部会打合せ
ウォークラリーについて
- 10月26日 第4回常任委員会
空き家対策・定住促進事業実施状況について、人事について、各部会の活動について
- 10月31日 「みわこどもまつり Presents こどもウォークラリー」開催
- 11月6日 秋のふれあいハイキング「百人一首ゆかりの生野道を歩く」開催
- 11月26日 中六人部地域づくり協議会（ミライト中六）視察受け入れ

- みわひまわりサポートについて
- 11月29日 第5回常任委員会
「事務所移転」にかかる三和支所からの依頼および説明、「旧細見小学校活用推進委員会」の事務局について、各部会の活動について、「3市連携 まちづくり互近助サミット」への参加について
- 12月2日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第40号発行
- 12月14日 みわ夏まつり幹事会
- 12月15日 第6回常任委員会
移住者交流会について、「旧細見小学校活用推進委員会」の事務局について、各部会の状況について、茶話会について
- 12月16日 第4回三和町自治会長会
新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止
- 12月28日 FM丹波「みわを元気に」
みわふれあいカフェとゆずります会について（みわふれあいカフェ・西岡まゆみさん、西山幸子さん、藤田まどかさんのお話）

令和4年

- 1月16日 「学用品ゆずります♪会」開催
事前に回収していた服や文具などの学用品を必要な人に持ち帰ってもらうイベント
- 1月20日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第41号発行
- 1月26日 第7回常任委員会
移住者交流会について、今後の三和荘について、各部会の活動について、第9回総会について
- 2月9日 地域活力部会打合せ
来年度の活動について
- 2月24日 第8回常任委員会
新年度総会に向けての準備について、新年度に取り組む事業と新役員体制について、事務所移転について、各部会の活動について
- 3月4日 FM丹波「みわを元気に」
防犯推進委員三和支部の活動について（防犯推進委員・小原正樹さん、岡部貢さん、清水喜代一さんのお話）
- 3月17日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第42号発行
- 3月17日 第5回三和町自治会長会
- 3月22日 第9回常任委員会
総会について、各部会の状況について
- 3月27日 「学用品ゆずります♪会」開催
事前に回収していた服や文具などの学用品を必要な人に持ち帰ってもらうイベント。みわふれあいカフェも同時開催
- 4月7日 会計監査
- 4月12日 第10回常任委員会
- 4月16日 第9回総会